

---

(宮司郷づくり10周年検証委員会 報告)



平成29年7月15日

宮司地区郷づくり推進協議会

## 1. はじめに

「宮司地区郷づくり推進協議会」は福津市が平成17～18年度に「地域づくり計画策定市民会議」を市内8地域ごとに組織して、4つの必須テーマ（福祉・子育て支援・防犯防災・環境景観）で、地域で取り組むことと、市と共働で取り組むことの10年間の計画を作ろうとした際、宮司地区の自治会長や、福祉ボランティア団体、子育てボランティア団体、住民ボランティア、公募市民で「宮司地域づくり計画策定市民会議」を立ち上げ協議を始めた。

その後、平成19年2月～4月にかけて設立準備を行い、会則、役員、事業計画予算（市交付金）、自己資金（各区負担金）などについて協議を重ねて、平成19年4月22日に「宮司地区郷づくり推進協議会」の設立総会を開催して活動をスタートさせた。

## 2. 経過

当初、郷づくりの全体で行う事業と各部会による事業（地域福祉部会、子育て支援部会、安全安心部会、環境景観部会）の4部会でスタートした。平成24年には環境景観部会から松原保全部会が分離独立して5部会の体制になった。

全体事業としては、宮地総区時代から開催していた「宮司地区餅つき大会」は第20回を迎え、また宮司コミュニティセンターが開設（平成16年）してからスタートした「みやじ夏祭り」は第12回を迎え、年々規模が大きくなってきている。また市の行事と重なり、発展的解消した催し（ウォークラリー大会）もある。

本年（平成28年度）宮司郷づくり（通称）が10周年を迎えるにあたり、10周年検証委員会を平成28年4月に発足させて、これまでの活動についての課題・反省・検証を行い次の10周年に向けて、新たなスタートをきっていきたいと考えている。

メンバーは当初、会長・副会長の三役、区長代表、部会長代表、指名理事代表、事務局を含めた8人で開催し、後半から部会長全員が入り合計11人で計8回開催した。

### 3. 宮司地区の人口・世帯の推移

#### 行政区別人口及び世帯数

※平成19年1月末現在

小学校区	行政区	合計人数	男	女	世帯数	6歳未満	65歳以上	高齢化率
平成19年	宮司1区	376	182	194	131	27	95	25.3%
	宮司2区	1226	604	622	468	111	218	17.8%
	宮司3区	1105	514	591	430	69	210	19.0%
	宮司西区	676	298	378	283	30	161	23.8%
	善福区	296	138	158	108	19	72	24.3%
	的岡区	779	375	404	302	31	186	23.9%
	宮司ヶ丘区	784	349	435	328	7	371	47.3%
	星ヶ丘区	833	389	444	309	25	169	20.3%
	計	6075	2849	3226	2359	319	1482	24.4%

#### 行政区別人口及び世帯数

※平成29年1月末現在

小学校区	行政区	合計人数	男	女	世帯数	6歳未満	65歳以上	高齢化率
平成29年	宮司1区	361	167	194	148	21	95	26.3%
	宮司2区	2,052	991	1,061	859	233	304	14.8%
	宮司3区	1,414	636	778	595	100	369	26.1%
	宮司西区	754	357	397	354	64	211	28.0%
	善福区	375	180	195	143	27	114	30.4%
	的岡区	892	430	462	359	57	259	29.0%
	宮司ヶ丘区	747	334	413	341	32	353	47.3%
	星ヶ丘区	707	322	385	317	20	307	43.4%
	計	7,302	3,417	3,885	3,116	554	2,012	27.6%

#### 《人口等の変動》

\*世帯：757世帯増加（2359世帯⇒⇒3116世帯）

\*人口：1227人増加（6075人⇒⇒7302人）

\*高齢化率：3.2%増加（24.4%⇒⇒27.6%）

#### 《その他の変動》

- \*西鉄・宮地岳線の廃止（平成18年）
- \*実業団・女子駅伝が開始される（平成20年）
- \*HP（みやじ郷づくりウェブサイト）の開設（平成25年）
- \*宮地浜海岸に「夕陽風景時計」が設置される（平成26年）
- \*宮地嶽、「光の道」が脚光を浴びる（平成28年）
- \*津屋崎庁舎の閉館（平成28年）
- \*宮司地区の拠点が増設「的岡区公民館」「宮司3区のサンクス」（平成28年）

#### 4. 10周年検証委員会で協議した内容

##### 1) 宮司地区が目指す将来像

\*メインテーマ：自然・歴史と生きるまち。みやじ。⇔ 継続

\*サブテーマ：～みんなで育む、人も自然もいきいきした住みよい

宮司地域づくり～



(簡潔にした)

～人も自然もいきいきと！皆で育む、住みよい宮司！～

\*基本方針：全体の基本方針は定められていなかったが、今回、地域づくり（まちづくり）を表現した5つの基本方針を新設

- 自然・歴史を大切にする、まちづくり
- 安全で、安心して暮らせる、まちづくり
- 子どもと高齢者にやさしい、まちづくり
- 地域活動団体との相互交流・連携を図る、まちづくり
- 地域の様々な人材活用を図る、まちづくり

##### 2) 地域交流事業について

###### \*全体事業

当初、みやじ夏祭り、みやじ餅つき大会、ウォークラリー大会を全体事業として開催していたが、ウォークラリー大会が無くなり、平成23年に自主防災会が発足したこともあり、「自主防災避難訓練」を新たに全体事業に加えた。

###### \*交流事業

これまで①六百俵記念祭 ②懇親グラウンドゴルフ大会 ③津屋崎祇園山笠裸参りの振る舞い ④宮司コミセンの花植えと除草 ⑤プリンセス駅伝のぜんざい振る舞い ⑥津小東雲祭の協力 ⑦松林の記念植樹 ⑧視察研修会を交流事業として行ってきたが、平成22年から⑨「戦没者慰霊祭及び墓地公園の清掃」を福津市遺族会から引き継ぎ、また平成29年度からの「津中文化祭の協力」を加え10事業に展開している。

###### \*新規事業

平成27年度に、新たな人・若い人を呼び込もうと「大座談会運動（宮司を語ろう会）」を3回開催した。今後も不定期ではあるが開催をしていきたい。また平成28年度から文化事業の一環として「ふるさと歴史探訪」の出版事業と「郷育カレッジ講座（みやじ編）」を実施した。「ふるさと歴史探訪」は福津市の図書館や学校に寄贈して喜んでいただいている。また新たに「宮司コミセン利用団体の文化祭」の開催も今後検討していく考えである

### 3) まとめ

宮司地区の将来像		
<p>自然・歴史と生きるまち。みやじ。</p> <p>～人も自然もいきいきと！皆で育む、住みよい宮司！～</p>		
基本方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然・歴史を大切にする、まちづくり</li> <li>○安全で、安心して暮らせる、まちづくり</li> <li>○子どもと高齢者にやさしい、まちづくり</li> <li>○地域活動団体との相互交流・連携を図る、まちづくり</li> <li>○地域の様々な人材活用を図る、まちづくり</li> </ul>		
全体事業		
*みやじ夏祭り	8月	(約3000人)
*第6回宮司地区自主防災避難訓練	11月	(約1500人)
*みやじ餅つき大会	12月	(約500人)
交流事業		
*六百俵記念祭		4月
*グラウンドゴルフ大会		6月はじめ
*津屋崎祇園山笠裸参りの振る舞い		7月
*宮司コミセンの花植えと除草		6月・7月・10月
*戦没者慰霊祭及び墓地公園の清掃		4月・8月
*プリンセス駅伝 in 宗像・福津ぜんざい振る舞い		10月
*津屋崎小学校「東雲祭」の協力		11月
*記念植樹祭		2月
*視察研修		2～3月
*津屋崎中学校文化祭の協力		10月 (新設)
新規事業		
*大座談会運動 (宮司を語ろう会)		
*ふるさと歴史探訪の出版事業		
*郷育カレッジ講座 (みやじ編)		
*宮司コミセン利用団体の文化祭開催の検討		

#### 4) 各部会の状況について

##### ① 環境景観部会

部 会	環境景観部会
将来の目標像	<p>子どもの生きる力と、歴史及び自然を大切にする心を育むことができる地域づくりの一役を担う</p>
基本方針	<p>○福津の環境及び景観を守るという意識を多くの人に広める</p>
<p>現在取り組んでいる テーマ</p>	<p>* 多種多様な生き物が棲めるように河川を清掃する 多様な生き物をとおして子どもたちに命の大切さを伝える</p> <p>* その手段として御供田に田圃ビオトープを設け、田植えや稲刈り、生き物観察会などを行う</p>
<p>今後取り組みたい テーマ</p>	<p>* 山・川・海の環境保全を総合的に進めていく土台を作る</p> <p>* 環境及び景観を守るという意識の高揚を図る</p>
課 題	<p>* 部員が、不足し、しかも高齢化により田圃の維持作業が難しくなっている</p> <p>* 田圃の位置などの関係でビオトープの維持が困難になってきているのでこれからの進め方を良く協議していきたい</p> <p>* 子どもたちに伝えるべき環境の情報を伝えきっていない</p>

② 松原保全部会

部 会	松原保全部会
将来の目標像	美しい自然、海岸林を守り、維持していく 市の木である松を大事に育て、松原で自然観察や体験学習会ができるようにしていく
基本方針	○南北松原の植樹（平成21年～平成28年）箇所の保全活動を中心に行う ○その他の場所については行政や地域の方々を巻き込み下草刈りを、年間1～2回は実施できる様にもっていきたい
現在取り組んでいる テーマ	*南北松原の植樹箇所の保全・管理を行う *遊歩道の整備等を年間を通して行う *小学生の卒業記念植樹の実施 *松林の中でイベントを行い、多くの方が松林に入っ いただき、関心をもっていただくように努めている
今後取り組みたい テーマ	*宮司浜松原は広域のため、月1回の保全活動ではカバー出来ず、春・秋年2回位の郷づくりや各自治会の役員に呼びかけ保全活動の協力をお願いする *高・中・小の子ども達に松林保全を訴えていき松林の中で遊べるようにしていきたい *松原保全ボランティア（小グループ）を呼びかけ、草刈り、集積、搬出の作業に対して助成金の検討を行い、広く松林の保全活動ができるようにしたい
課 題	*スタッフが高齢のため、新規参入の方々を募集 *保全活動体験を多くの方にしていただく

③ 子育て支援部会

部 会	子育て支援部会
将来の目標像	夢を持ち、福津市を担う子どもと生きがいのある大人が集い、学ぶ宮司地域づくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宮司コミュニティセンターを拠点にして、教育、自然、文化、子育て活動に役立つ取り組みをしよう</li> <li>○子どもと共に大人も楽しく学習しよう</li> <li>○宮司地区から将来を担う子どもを育て、異世代が交流できる機会を作ろう</li> <li>○子どもたちと地域の人たちをつなぐ仕組みを作ろう</li> </ul>
現在取り組んでいる テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自然に関わる体験活動や自然に関する学習 生き物観察会・農業体験</li> <li>* 夏休みの生活習慣に関わる活動 夏休みラジオ体操</li> <li>* 「食」に関する活動 親子料理教室・夏休みそうめん流し</li> <li>* 歴史や文化に関する活動 折紙教室</li> </ul>
今後取り組みたい テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 松林に関わる活動 他部会と連携しての巣箱づくり（中学生）や自然観察会など</li> <li>* 行政などと連携して子育て相談や親子交流の場の提供</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 部会員だけではなく、行事等に協力していただける部会ボランティアの募集が必要</li> <li>* 登録制の人材ボランティア名簿などを作ってはどうか</li> </ul>



④ 安全安心部会

部 会	安全安心部会
将来の目標像	地域住民が一体となって、安全安心の生活 災害に負けないまちづくりをめざす
基本方針	○郷づくり、地域、学校、行政の連携で安全安心な宮司地区 ○防災意識の向上により災害に強い宮司地区
現在取り組んでいる テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学校、地域、ボランティア団体等の連携による情報の共有化（情報ネット会議⇒年度はじめ5月頃に予定）</li> <li>* 事故・事件のない地域（自転車の無灯火防止活動、パトロール、見守り隊等）</li> <li>* 参加しやすい防災訓練の内容検討（宮司地区全体防災訓練）</li> <li>* 防災備品等の検討</li> </ul>
今後取り組みたい テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域活動に反映できるよう情報ネット会議の充実</li> <li>* 行政、消防、警察等との情報交換、協力活動</li> <li>* 防災備品や備蓄品の充実⇒市が設置する備品に加え郷づくりで準備する備蓄品の検討</li> <li>* 地域住民の防災意識の向上</li> <li>* 防災リーダーの育成</li> <li>* 地域の安全点検（危険箇所など）</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 部会員の人員確保、知識の向上</li> <li>* 各団体との連絡や会議の充実</li> </ul>

⑤ 地域福祉部会

部 会	地域福祉部会		
将来の目標像	<p>仲良く元気で長生きを！                      ～にっこり元気に今日は！                      外に出てみんなで楽しく、まちづくり～</p>		
基本方針	<p>○お隣に声を掛け合う互助の精神                      ○いつまでも元気で健やかに！                      ○地域の交流の場づくり</p>		
現在取り組んでいる  テーマ	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;"> <p>&lt;高齢者福祉&gt;                              *安否確認の電話ボランティア                              *たすけあい福祉マップ                              *あんしん情報セットの配布</p> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;"> <p>&lt;健康福祉&gt;                              *健康測定会                              *健康講演会</p> </td> </tr> </table>	<p>&lt;高齢者福祉&gt;                              *安否確認の電話ボランティア                              *たすけあい福祉マップ                              *あんしん情報セットの配布</p>	<p>&lt;健康福祉&gt;                              *健康測定会                              *健康講演会</p>
<p>&lt;高齢者福祉&gt;                              *安否確認の電話ボランティア                              *たすけあい福祉マップ                              *あんしん情報セットの配布</p>	<p>&lt;健康福祉&gt;                              *健康測定会                              *健康講演会</p>		
今後取り組みたい  テーマ	<p>*地域支えあい支援事業の取り組み（仕組みづくり）                      ・高齢者の見守り活動（小地域福祉活動）                      ・高齢者の居場所づくり（介護サロンなど）                      {以上は平成29年度に個別に集中協議}                      ・移動交通手段の検討（オンデマンドバスなど）                      ・介護や障がい者への地域での支援                      ・認知症問題への地域での取り組み                      *福祉協力委員制度の検討                      *各種地域団体との連携（シニアクラブ、子ども会など）</p>		
課 題	<p>*マンネリ化                      *部会員の高齢化(特に電話ボランティア)</p>		

## 5. 成果と課題

全体事業として開催している「みやじ夏祭り」は年々規模も大きくなり、地域の皆さんが喜んで参加して頂くようになってきた。(地域外からの参加も増加) また「みやじ餅つき大会」も子ども会、シニアクラブとの異世代交流の場として定着してきた。今後、新たに福間小校区子ども会も参加するようになるため、運営のあり方など協議していきたい。

自主防災避難訓練については、宮司地区としても第6回目を迎えた。定着はしてきたがマンネリ化が避けられず、今後、開催曜日など内容の検討を続けていく。

またこれまでは、どちらかというところ、イベント型行事が多かったが、平成28年度から、「ふるさと歴史探訪」の出版事業や、郷育カレッジ「みやじ編」などの文化事業を開催することが出来た。イベントを大事にしながらも「心を繋ぐ」活動を継続していきたい。

各部会が共通して困っていることは、メンバーの高齢化、部会員の減少問題である。部会によっては、70代後半の方が多く、活動が難しくなっているところもあり、大きな課題になっている。福津市の「郷づくりアンケート」の中でも、高齢者世帯が増加し地域活動への参加自体が難しい世帯が増えたり、時間的な余裕がない共働き世帯の増加もあり、「担い手不足」「活動の低迷」「負担感の増大」などが指摘されている。

また「情報が少ない」「活動の内容や意義を知りたい」との意見も多くあり、地区の皆さまに周知徹底することの重要性を感じている。

対策として、あらゆる機会をとらえて「郷づくり活動」の重要性をPRしながら周知徹底を図りたい。具体的には「郷づくり活動」の案内パンフレットの作成・配布や募集チラシの回覧を増やしたり、自治会の皆さまを対象に説明会の開催なども行っていく。

また、若い人たちが少しでも加入しやすくなるように、役員や部会員の費用弁償の見直しも今後検討中である。

## 6. まとめ

これまでの10年間は「郷づくり」って何?というところからのスタートであり、地区の皆さまに認知してもらうように、種々活動を行ってきたが、まだまだ不十分である。

これからもあらゆる機会を通じ「郷づくり」の周知徹底を図り「郷づくり活動」が地域を良くし、地域の発展になっていくとの思いを更に深めていきたい。

「郷づくり」が「自治会」や「行政」と協力・連携して、「私達の地域は私たちの手で作り、育て、守っていく」という共通認識のもと、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを目指して新たな10年に向けて進んでいきたい。

(上段右より)

阿部理事・三原部会長・中村部会長  
米山部会長 阿部部会長 (写真未掲載)



(下段右より)

石田部会長・藤山副会長・坂根会長  
長瀬副会長・中島自治会長・佐々木自治会長

### 宮司郷づくり10周年検証委員会メンバー



みやじ夏祭り



防災避難訓練



みやじ餅つき大会



そうめん流し (子育て)



健康測定会 (地域福祉)



河川清掃 (環境景観)



松原保全整備 (松原保全)



交通マナーアップ運動 (安全安心)